

ロシアによるウクライナ侵略反対の宣伝をおこなった党区議団と 山添拓参議員議員、石沢のりゆき党文京地区青年学生部長(区役所前)

# 区の貯金は 49 増え 616 に

コロナ禍で暮らしが大変なのに、区は貯金(基金)を1 割近く増やしました。それは区が「財政が厳しい」との掛 け声で、切実な区民ニーズを切り捨てたからです。

例えば、昨年秋に策定したコロナ対策は予算を伴わず、 今年度予算でも PCR 検査費用は、感染者が少なかった時 期の実績で計上する等、不十分です。

さらに、都が集め区へ配分する法人税を原資とする収入 は、当初見込みより2割以上も増収でした。税収が堅調で あることに加え、年度当初に収入予定を極力小さく見せ、 増収分が残るという財政運営も行われています。

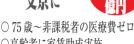
# 般会計予算 3.4% 増やしくらし応援 せょ!

# 地域経済を



○商店のリース代など固定費補助 ○ PCR 検査拡充(保育・ ○商店街の街路灯電力全額補助 ○プレミアム券発行○浴場補助増額

住み続けられる 文京に



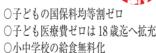
- ○高齢者に家賃助成実施 ○補聴器助成の拡充
- ○介護士への家賃補助拡充 ○生活保護利用者への入浴券復活

児童・育成室・学校・教育 センター)

新型コロナ

○住宅耐震助成拡充 ○感震ブレーカー

家具転倒防止拡充



○小中学校の給食無料化 ○特別教室の改修増やす

○35人学級前倒し小4・中2実施 ○区立保育園の調理は直営に

### 貯め込み金616筒の6% 37僧を使います。

## ウクライナへのロシア 侵略 抗議で全会派ー

3月14日、文京区議会は、ロシアの軍事侵攻は、ウクライ ナの主権と領土の一体性を侵害する暴挙であり、国際法及び 国連憲章の重大違反であり、核兵器の先制使用を示唆する発 言は看過できないとして、以下全会派一致で決議しました。

- 1. 日本国憲法が掲げる平和主義のもと、ロシアによるウクラ イナ侵攻に対し、厳重な抗議の意を表するとともに、ロシ ア軍に対し、即時に完全かつ無条件の撤退を強く求める。
- 2. 日本政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保に全 力を尽くすとともにウクライナの平和を取り戻すため、国際 社会と連携し、厳格かつ毅然と対応することを強く求める。

しかし、ロシアのウクライナ侵略に乗じて、今岸田政権は 「敵基地攻撃」ができる「日米同盟強化」と9条改定を叫び、 維新の会は日米での「核共有」を掲げたことは許されません。

日本共産党は、憲法9条を生かした積極的・能動的外交の 上に、万一の場合は、自衛隊を含むあらゆる手段を行使して 国民の命と主権を守り抜くという立場を明らかにしています。

## コロナ対応の遅れ 保健所ひっ迫の現状

文京区のコロナ感染者数は、第6波の今年のピーク時で 6273人にもなりました。厚労省の専門家会議では新規陽性者 の減少は緩やかであり、基本的な感染対策を続けることが必 要だとしています。

区は、この間、「文京区版保健・医療提供体制確保計画」 に基づいてワクチン関係職員増を図る等、流動体制でコロナ 対応にあたってきましたが、それは昨年7月から8月の第5 波への対応であることが、予算委員会で明らかになりました。

また、第6波のピーク時の保健師等の時間外勤務手当の2 月分は、1月分と比較して約7.8倍にもなっており、恒常的 な人員体制の強化になっていません。

さらに、区の今年度予算にはコロナ対策が重点施策に入っ ておらす、保健所体制等の強化策がなく、特養ホームの PCR 検査の予算が大幅に削減される等、命を守る自治体と してあまりにも無責任な対応と言わなければなりません。

コロナ収束まで引き続きの対策強化を求めていきます。

## 日本共産党

第115号 2022 年 春号

**☎**5803−1317 FAX 3811-3197



いたくら美千代 区議会議員



まんだち幹夫 区議会議員



こうだ久美子 区議会議員



関川けさ子 区議会議員



金子でるよし 区議会議員

Eメール: mail@jcp-bunkyokugidan.gr.jp





区政へのご意見・ご要望をお寄せください -



小林れい子 区議会議員

ホームページ:http://www.jcp-bunkyokugidan.gr.jp/

# 実現!

# 国保料未就学児子どもの均等割り引下げ



日本共産党が長年要求してきた、国民健康保 険料の子ども分の均等割り引下げが、4月から小 学校入学前児童(約750人)のみ半額になります。

私たちは、18才未満の均等割りを"ゼロ"に すべきと運動してきました。家族の数に応じて負 担が増える均等割りは、国保にのみあり、協会 けんぽ等にはありません。早急な均等割りの引き 下げを18才まで拡充することを求めていきます。 子育て支援に逆行し、子育て世帯等の大きな 負担となっている「均等割り」「平等割(世帯割)」 は廃止すべきです。

## ◆子どもの医療費無償化を

現在、中学生まで医療費ゼロですが、さらに 18才まで拡充する条例案を共産党が提案しましたが、自民、公明等により否決されました。

# 目白台運動公園 は指定取り消し、 直営にせよ!





目白台運動公園は指定管理委託で、2009年4月の開園から2018年度まで「西武造園パートナーズ」、2019年度から現在まで「目白台運動公園パークアップ共同体」の管理・運営です。

#### ◆協議おこなわず樹木伐採 ◆◆◆

開設時には1,084本あった中高木が 近年70本も伐採されたことが明らかに なりました。伐採が必要な場合は区と の協議、利用者への周知が必要ですが、 協議済みはわずか2本のみで、5,389 株ある低木は伐採数の確認すら行われ ず、これは業務要求水準書違反であり、 指定取り消し条件に合致します。

#### ◆開園当初から産廃を違法投棄 ◆◆◆

貴重な緑が失われるとともに、側溝 に堆積したテニスコートの目砂(都環 境局は産業廃棄物に該当)を、開園当 初から西側テニスコート脇と南側樹林 地の急傾斜地へ投棄していたことが発 覚するなど、看過できない事態が住民 の調査やわが党の議会論戦で明らかに なっています。

3月22、23日、産業廃棄物(汚泥)が吸引撤去されました。しかし、南側樹林地上部からアイスの容器や缶のふた、ブルーシートも出現するなど、前指定管理者である「西武造園」等の責任も重大です。2月15日のわが党の本会議質問に対する区長答弁の「適切だ」とは言えない事態に発展しています。

3月23日、党区議団は区長に、伐採 樹木と前管理者の「西武造園」と現管 理者の「パークアップ共同体」の責任 について質問と要望を提出し、指定取 り消しと区直営化を求めました。

## 都立駒込・大塚病院の 独法化は中止に!



(駒込病院前で、こうだ、福手、金子)

全国2287病院の中で、コロナ病床確保数を見ると、都立駒込病院は181床で5位、都立大塚病院は120床で11位。11か所の都立・公社病院が日本のコロナ医療のトップ11を占めています。

### 都議会で福手ゆう子都議が質疑

しかし、昨年10月、都議会で「地方独立行政法人 東京都立病院機構定款」が可決され、今年7月の独 立行政法人化を目指し、準備が進められています。

3月には、「東京都職員定数条例の一部を改正する条例(6838人の病院職員の非公務員化)」が出され、福手ゆう子都議会議員が質疑。コロナ禍で長時間労働や精神疾患で休む職員が増え続けている実態を明らかにした上、議案に反対しましたが、自公・都民ファ・維新等の賛成で可決されました。

党区議団も、今定例議会において、コロナ危機のもとでの独法化は中止することを求めるとともに、今こそ反対の立場を明確にするよう区長に要求しています。

## シビック改修には3年連続30億円超なのに

### 学校の特別教室改修はおきざり!

築30年を超えた区立小中学校の内装などを改修する「快適性向上事業」が基本的に完了します。

党区議団は、引き続き対象外になっていた特別教室の改修を要求し、区は2020年度、特別教室改修基礎調査を行いました。その結果改修工事が必要な教室は小学校11校・101教室、中学校7校・101教室にのぼることがわかりました。





#### 「とても落ち着いて勉強できる環境じゃない」と先生

基礎調査結果によれば、たとえばA小学校の改修対象は264か所。うち「大劣化有・改修要」が111か所、「汚損・破損」が19か所にのぼります。古くなった床や調理台、換気扇の故障などすぐに対応が必要です。しかし今年度の特別教室の改修工事は、根津小学校音楽室のたった一室のみです。他方でシビックセンター改修の今年度の予算は約38億円、3年連続で30億円を超えています。

党区議団は、シビックセンター改修計画(総額200億 円超)の見直しとともに、小中学校の202特別教室の一刻も早い改修を求めました。